

ノリ養殖環境速報 KH-29-4 (播磨灘) 平成 29 年 12 月 1 日 発行

※平成 29 年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

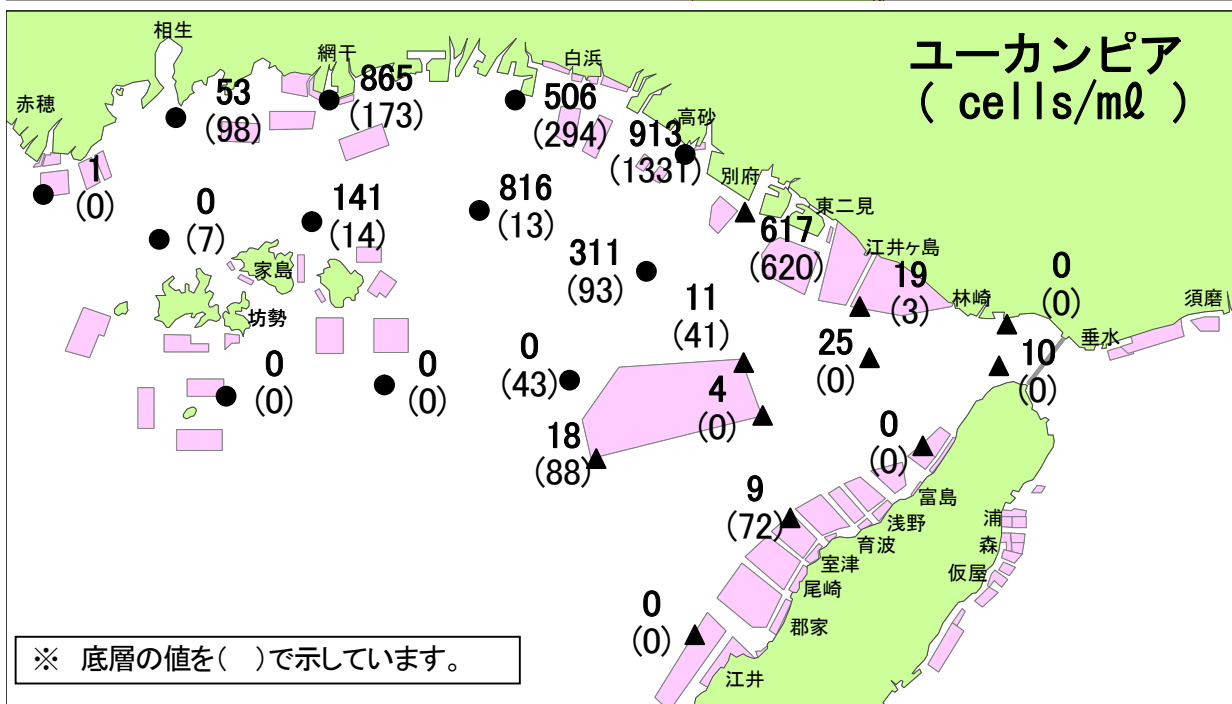
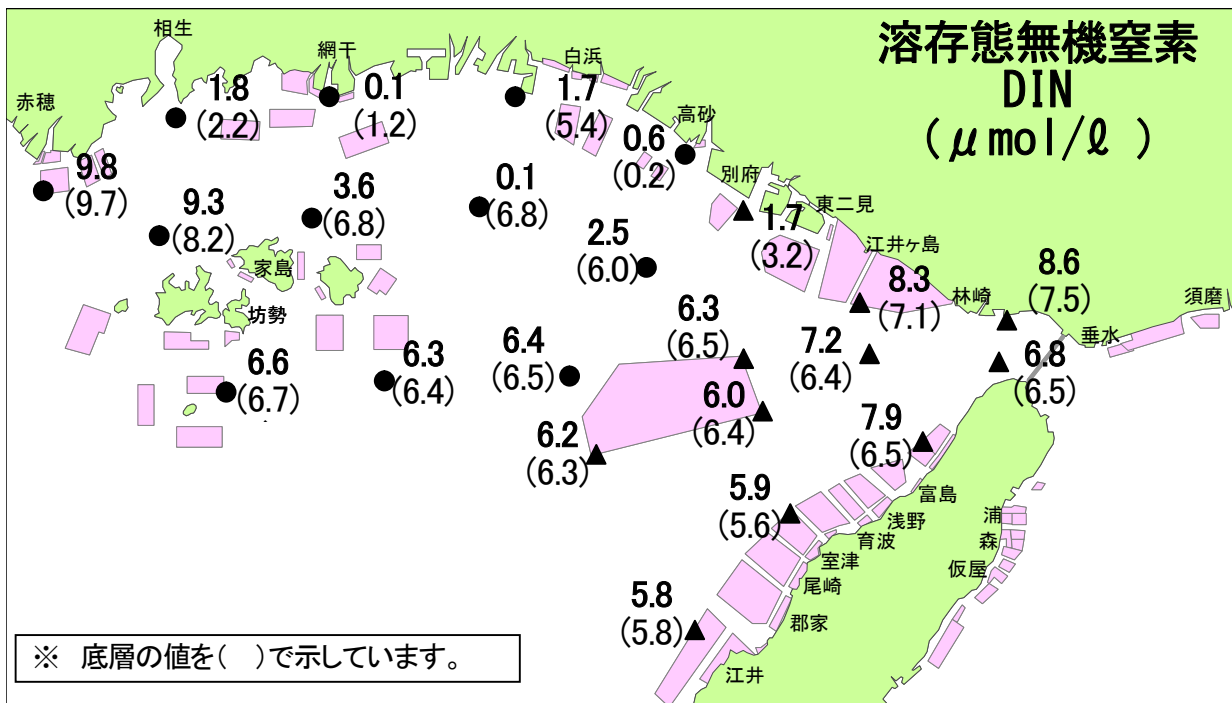
調査年月日：11 月 29、30 日

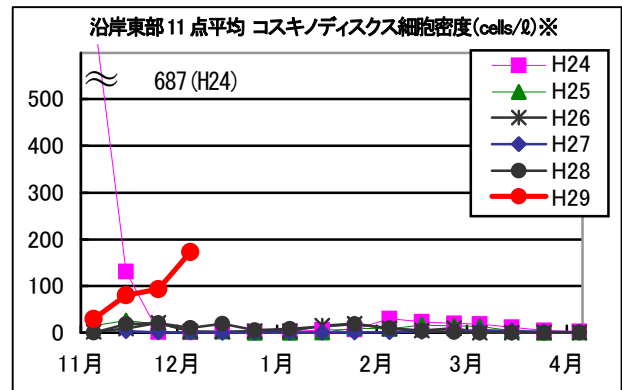
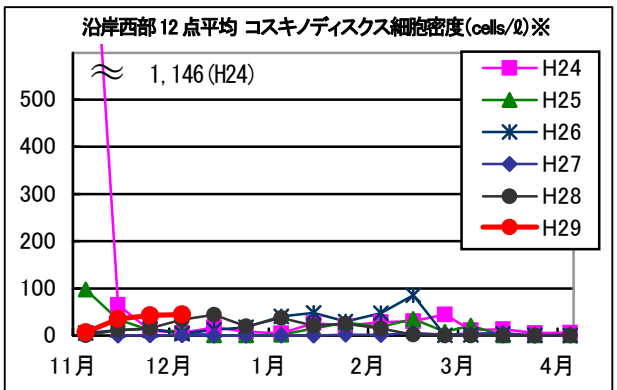
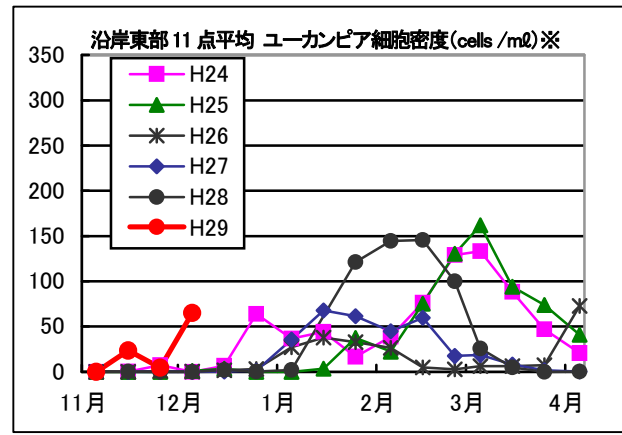
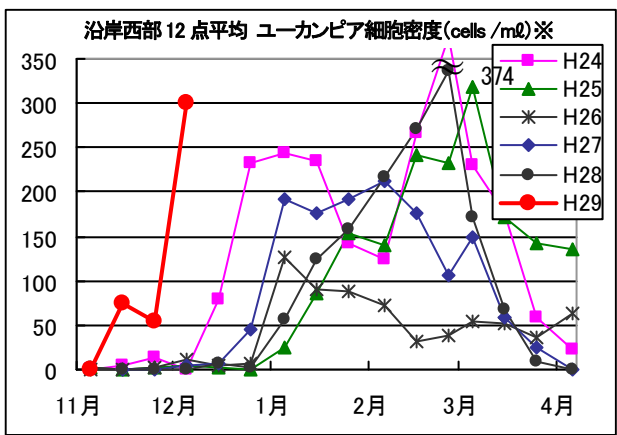
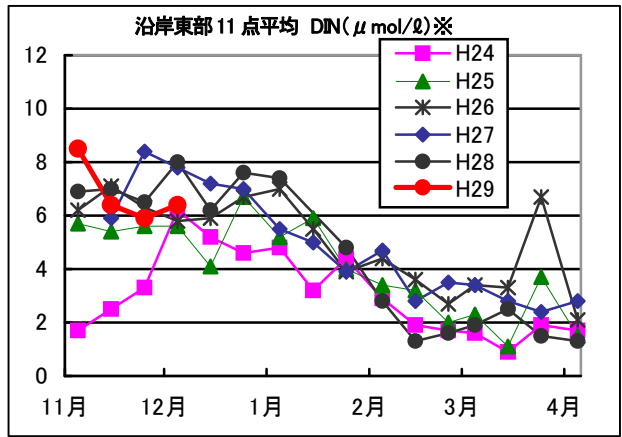
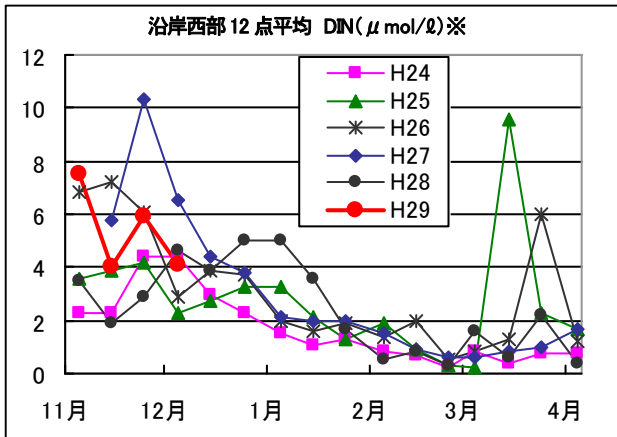
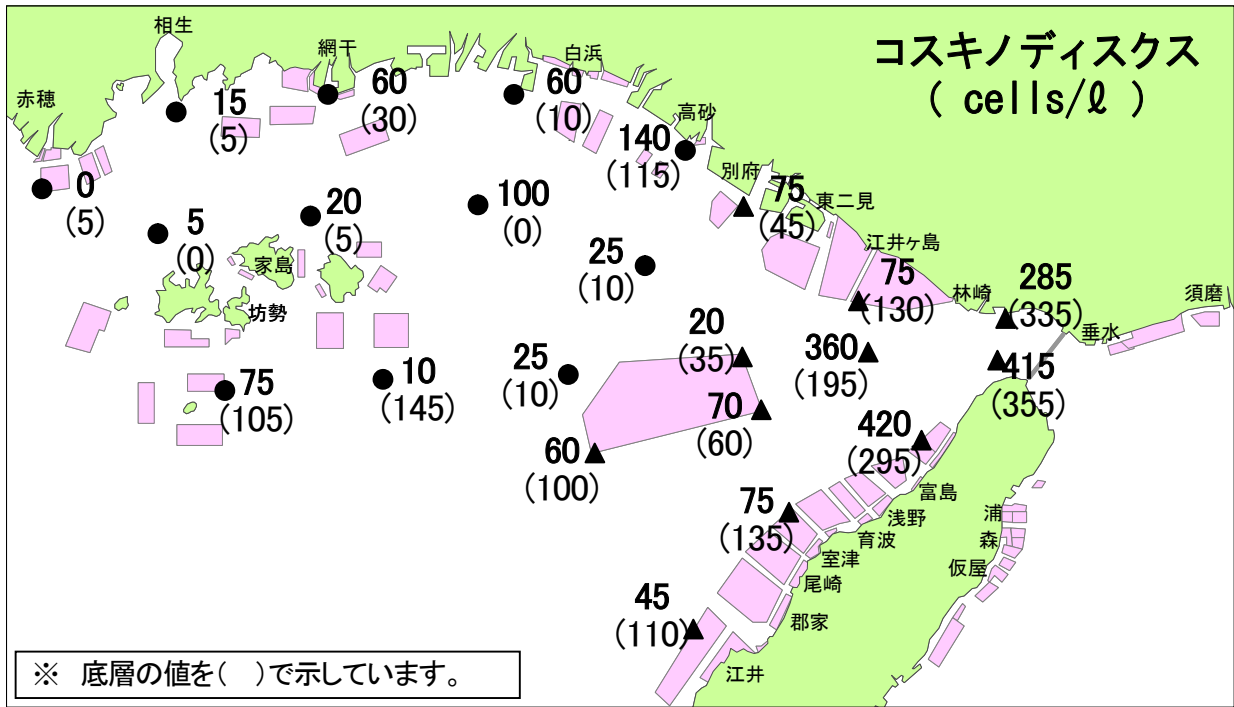
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、西部、東部、沖合域で概ね $5\mu\text{mol/L}$ 以上、北部沿岸域の一部(高砂~姫路地先)で $1\mu\text{mol/L}$ を下回っています。

大型珪藻のユーカンピアは、北部沿岸域(高砂~姫路地先)で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは明石海峡から東部海域を中心に確認されています。

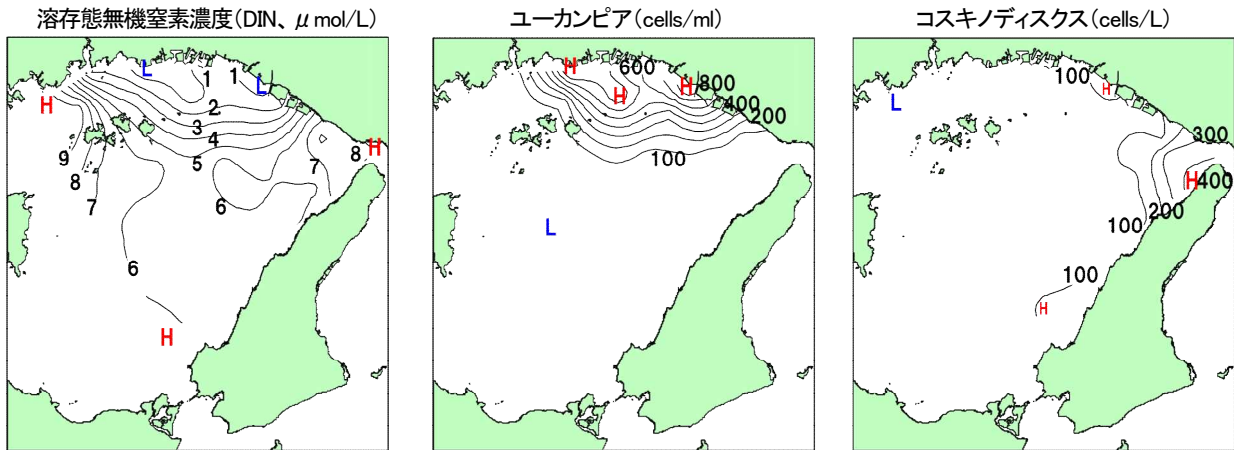
水温は、白浜以西では $14.2\sim 15.4^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では $15.3\sim 17.2^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $15.8\sim 16.2^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $16.9\sim 17.6^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $16.6\sim 17.3^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成29年11月29～30日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸域(高砂～姫路地先)では、前回の調査に引き続き、ユーカンピアゾディアクスや小型珪藻等の多様な珪藻類が多く発生しており、ユーカンピアの発生海域はやや拡大しています。また、同海域のユーカンピア細胞数は、900cells/ml以上に達しているところもあります。今後の天候によっては、ユーカンピアの発生海域がさらに拡大する可能性もありますので、その動向には十分にご注意下さい。コスキノディスクスワイレシーは、北東部海域(明石海峡周辺)を中心に確認されていますが、栄養塩濃度の動向に大きな影響を与える数ではありません。

珪藻類が多く発生している影響により、北部沿岸域(高砂～姫路)では表層のDIN濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。播磨灘西部、東部及び沖合域のDIN濃度は、概ね $5\mu\text{mol/L}$ 以上を維持していますが、今後の珪藻類(特にユーカンピア)及び栄養塩濃度の動向にはご注意ください。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並とされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、珪藻類の発生状況にもよりますが、現状維持またはやや低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 11月30日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(12/1～12/7)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がり、雨や雪の降る日があるでしょう。中部や南部では高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷の影響で雲が広がる見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低いでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(11/21)では、日生沿岸でDIN(表層)が $11.5\sim 14.1\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは確認されませんでした。(※前回から更新されていません)
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成29年12月12日頃に発行予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>